



KFMA活動

2020.02

尹孝鎮(Hyo Jin Yoon)

12代 (2019-2020) KFMA會長

工學大学院長, 京機大學校

Contents

Part 1. KFMAの活動内容

Part 2. 最近の韓国のFM関連 이슈 と対応

Part 1 . KFMA (Korea Facility Management Association)の主な活動

1. FMセミナー - 最近のトピック主題を中心に毎月
2. 国際シンポジウム(毎年11月)
3. 韓国FM大賞
4. 委員会 運営
5. KCFM- 施設経営管理士資格
6. FM関連研究活動支援
7. 学会活動 – 論文集発刊(韓国研究財団登録)
8. FM コンサルティング

1. 2019年度FMセミナー主題

- 1月主題 : 既存建築物のエネルギー性能測定による最適化管理テクニック
- 2月主題 : Digitisation and Facility Management
- 3月主題 : 韓国施設管理市場の実用的IFM導入方案 (Supplier&Buyer観点)
- 4月主題 : New Stay事業の理解および推進背景
- 5月主題 : Startfield 河南施設現況とGB - FMS本社スマートオフィス見学
- 6月主題 : IFM Digitization, 人空知能とFMの未来
- 7月主題 : Workplace360オフィス
- 8月主題 : 世帯と施設拡張現実コンテンツ化プラットフォーム
- 9月主題 : IoT基板知能型住居/オフィス環境(ホームIoT, ビールIoT)
- 10月主題 : Bosch Global IoT Business 推進現況

2. 2019 국제シンポジウム Survival FM (변화의 시대、FM의役割)

5

第 1 主題 - 戰略的FM

第 2 主題 - 안전과環境

第 3 主題 - FM Summit

第 4 主題 - Asset/Property市場

第 5 主題 - 使用者中心のFM platform

第 6 主題 - 建築物性能向上技法

第 7 主題 - FM Technology

25th
International Symposium
제25회 국제심포지움

11월 7일
- Introduction
- 제1주제 전략적FM
- 제2주제 안전과 환경
- 제3주제 FM Summit
- Networking Party

11월 8일
- 제4주제 Asset/Property 시장
- 제5주제 사용자 중심의 FM platform
- 제6주제 건축물 성능향상 기법
- 제7주제 FM테크놀로지

*논문포스터 발표(11.8)와 영남권 전영_관심유형의 주관

2019.
11.7 ~ 11.8

서울대학교 호암교수회관
삼성컨벤션센터

주최: 한국퍼실리티매니지먼트학회
문의: <http://www.kfma.net> TEL. 02.832.7058
후원: 산업통상자원부, 한국빌딩산업연합회, AURIC, JFMA

KFMA 한국퍼실리티매니지먼트학회
Korea Facility Management Association

Survival FM(변화의 시대, FM의 역할)

일시 : 2019년 11월 7일(목) ~ 11월 8일(금) 양일간 09:00 ~ 18:00
주최 : (A)한국파워에너지관리학회

장소 : 서울대학교 호암교수회관 삼성컨벤션센터
후원 : 산업통상자원부, 한국발달산업연합회, JFMA, Gold Bricks FMS



3. 2019年度FM大賞

7

- 1) 施設経営部門
- 2) 空間経営部門
- 3) リノベーション部門
- 4) 情報経営部門
- 5) 照明デザイン部門
- 6) スマートオフィス部門
- 7) 特別賞(今年のFMer)

4. 委員会

- ▶ 諮問委員会
- ▶ 運営委員会
- ▶ 学術委員会
- ▶ 編集委員会
- ▶ 民資事業委員会
- ▶ 病院産業委員会
- ▶ 公共FM委員会
- ▶ 国際交流委員会
- ▶ グリーンエナジー委員会
- ▶ 都市デザイン委員会
- ▶ 産災相談委員会
- ▶ KCFM資格委員会
- ▶ KCFM資格試験運営委員会
- ▶ FM産学特別委員会
- ▶ FM標準委員会



5. 施設経営管理士(KCFM) - FM専門家の養成

1. 1999年度(FM資格制度研究委員会) - FM資格制度と教育プログラム提案
2. 2000年度(FM資格制度委員会) - 2001年から資格制度試行提案
3. 2001年度(CFM推進委員会) - IFMAと連携したCFM資格制度試行合意
4. 2007年5月-2008年2月(FM教育委員会) - FM専門家教育課程推進
5. 2008年7月-2009年6月(FM教育委員会) - ビル経営協会と共同にビル運営
専門家課程推進
6. 2010年度(FM教材編集委員会) - FM教育課程のための教材編纂
7. 2011年度(FM資格制度委員会) - FM民間資格可能性検討
8. 2013年度 - KCFM(施設経営管理士)教育 : 2019年まで9期卒業

6. 学会活動 - 論文集(韓国研究財団)發刊

FM학회 논문집

한국연구재단 2017년도 학술지평가 등재후보학술지 선정

◆ 한국퍼실리티매니지먼트학회 회원 여러분께 ◆

오랜만에 반가운 소식을 전하게 되었습니다.
 저희 논문집이 드디어 한국연구재단 2017년도 학술지평가에서
 등재후보학술지로 선정되었습니다. 이번 결과는 그동안 학술지 등재를
 위해 수고 하신 모든 회원 여러분의 성원 덕분이라고 생각합니다.
 특히 학술지 복간을 주도하신 전재열 전회장님과 지속적인 발간을 위해
 지원을 아끼지 않으신 김용수 전회장님께 감사드립니다. 그리고 어려운
 여건에서도 논문집 발간을 위하여 편집위원장직을 맡으셔서 헌신적인
 노력을 해주신 이명식부회장님, 이소영부회장님의 노고에도 감사드립니다.
 작년의 실패를 거울삼아 재도전에 성공하신 김준하부회장님께도
 진심으로 감사드립니다.

20여년의 역사를 자랑하는 한국퍼실리티매니지먼트학회가 이제야
 등재지에 첫발을 들여놓은 것인 한편으로 부끄럽기도 합니다만,
 이번 쾌거야말로 저희 학회가 학술단체로서 본격적인 발전을 할 수 있음
 원동력이 될 것으로 확신합니다.

더욱 노력하여 다음 평가에서는 당연히 등재지로 선정될 수 있도록
 계속 노력할 것을 약속드립니다.



Part 2. 最近の韓国のFM関連 이슈と対応 11

1 . IFM(Integrated Facility Management)産業の韓国現況

1) IFM事業

- 韓国では施設管理, 清掃管理, PM(Property Management), 警備保安などに区分された専門FM会社が多い。
- Catering Services, Support Services, エンジニアリングが含まれた統合サービス会社は少ない。
- 政府の労働政策、特に公共企業がアウトソーシング分野を直営正規職化と転換しており、アウトソーシング市場が萎縮されている。
- 大企業の場合は下請けの規制によってFM事業規模の拡大が難しい。

2) 韓国FM専門会社が国際化と多角化のためIFM事業に関して興味をもっている。

- KFMAが中心になって IFM事業に関する多様なセミナーとシンポジウムを開催している。
- . 国際的FM企業であるCBRE, JLL, ISS, IDENの専門家招待セミナー開催
- . 韓国 IFM会社であるGB FMSのCEOと専門家招待セミナー開催

3) 韓国の大企業のFM社の以降の展望

- 韓国の主要なFM社はいままでのKFMAセミナーなどの積極的な活動によってIFM事業を本格的に推進しようとしている。

2. FM関連政府政策の変化による影響

1) 政策の変化

- 勤労者の最低賃金の引き上げ
- 公共機関のアウトソーシング(施設管理、警備、清掃など)直営化による業界変化

2) 影響

- 共同住宅警備員の大量解雇
- 清掃部門無人などの設備化(ロボット化)増加
- アウトソーシング会社の経営難、廃業増加
- 清掃管理高効率化方案

3. LGサイエンスパーク

1. 第20回韓国FM大常施設経営部門大賞受賞
2. LGグループ8個系列社が參與して33.5万坪規模の尖端融・複合R&D團地に助成された韓国最大規模の研究団地
3. 管理会社である“S&Iコーポレーション”は空間管理ブランドである“atxpert”, 建物運営管理システムである“Expert Service at Genuine”を導入して体系的であり効率的な運営管理を図っている。
4. TLセンタ(Technology/Learning Center)を構築して技術基盤サービスとFM専門家養成のための施設を完備している。



4 . FM ISO/TC267確定による韓国FM標準のため

15

- 1) FMISO/TC267による国際的FM標準の韓国普及のためKFMAと韓国標準協会(KSA)は2016年8月22日にMOU締結
 - KS標準にTC267標準の適用のための共同協力
- 2) 民間企業への普及のためにKFMAの持続的Summit開催
- 3) KS(韓国標準)規定にFM ISO/TC267導入を準備中
- 4) 外国系と国内IFM会社はFMの国際的標準によって契約や作業標準を段階的に導入している。
 - Jones Lang LaSalle (JLL), CBRE, Gold Bricks FMSなど
- 5) 国際ISO総会の韓国誘致のため努力

5. 建築物管理法施行

【1】 施行：2020年5月30日

【2】 目的

建築物の安全確保と便利・快適・美観・機能などの使用価値を維持・向上するために必要な内容と安全に解体するための内容を指定し、建築物の生涯に科学的・体系的に管理して国民の安全と福利増進に資することを目的している。

- 建築物管理点検体系
- 建築物火災安全性能補強
- 解体工事安全強化と建築物管理基盤構築

【3】法律制定推進背景

1. 建築法制定以前の建築物は建築許可・使用承認を受けずに建築
- 点検する制度がないので安全の問題がある
2. 個別建築物の所有者・管理者が点検機関指定
- 検証されていない低価会社の不良検査の問題
3. 解体、撤去、リモデリング工事で予想されていない災害発生
- 建築物解体と撤去工事は申告事項で崩壊事故発生
4. 老朽建築物の比重が37%であり継続的増加が予想され、建物火災と既存建物の安全管理に関する要求が高まる。

Thank you!